



みどりの風

平成27年1月8日発行
校報 第515号
〔みどりの風 第58号〕
練馬区立関町北小学校

新しい一年を迎えて

校長 大野 泰弘

あけましておめでとうございます。

保護者、地域の皆様におかれましては、よき新年をお迎えになられたこととお慶びを申し上げます。本年が、皆様にとりまして、ますますご健勝で、幸多い一年となりますことを願っております。

東京は比較的穏やかに新春を迎えましたが、全国的には強い寒波の影響で、記録的な積雪となった地方がございました。豪雪の被害に遭われた皆様には、お見舞いを申し上げます。

さて、今日から、学校には子どもたちの元気で明るい笑顔が戻ってきました。今年度も残すところ、3ヶ月ほどになりました。引き続き、子どもたちが安心して、笑顔や喜びに満ちた毎日を過ごすことができますように、教職員一同、一所懸命努力してまいりたいと存じます。

ところで、「心を開き、夢を育てる」という基本的な考えをもとにして学校をお預かりしていますが、昨年1月号では、東京都教育委員会言語能力向上拠点校としての研究発表や開校55周年の記念行事を想定し「発表／発信」・「發案／發想」・「發揮／發展」を意識していきたいとお伝えいたしました。

昨年は、多くの保護者、地域の皆様の力強いご支援のもと、これらの教育実践をやり遂げることができました。その中で、子どもたちには、確かな読みの力や読書活動に対する意欲などを高めることができましたが、それと共に、地域とのつながりをあらためて心にとらえることもできたと感じています。これらを踏まえ、今年は、過去の文言とも重複する点もありますが、次の言葉を念頭において教育活動を展開してまいりたいと存じます。

Continuation〔継続〕

- ・3年間の言語能力向上にむけた様々な視点からの研究活動を通して得ることのできた子どもたちの変容を含め、研究の内容的・環境的な成果を今後も継続実践しながら、関町北小学校の教育の基盤として、4月以降に教職員の異動があっても形を残していきたいと考えています。「読み取りのわざ」、「四字熟語」「本は友だち」、「漢字検定」などを継続しつつ、研究は研究発表会をして終了ではなく、その成果と課題をその後も追究していくところに意味があると考え、「学びの関北」の充実を図っていききたいと思います。

Cooperation〔連携〕

- ・学校は地域の中であって、開校当時にご尽力された皆様の思いと共に発展してきたと言うことができます。昨年は、5の付く年度に初めて「開校55周年記念集会」を開催できました。これを契機として、今後、本校に学ぶすべての子どもたちが在学中に一度は周年行事を経験し、自らと地域とのつながりを再確認できるとよいと思っています。そのためには、これまでの積み重ねを生かし、さらに学校と家庭、地域社会との連携を強めていきたいと思っています。それが、次の開校60周年の行事への展望を開くことになると考えています。

Creation〔創造〕

- ・周年の活動や研究発表会は終わりましたが、これから来年度の教育課程の編成をしてまいります。その中では、主体は学校側の考えとなりますが、保護者や地域の皆様のご意見も伺いながら、子どもたちの状況や21世紀を生きる子どもたちに求められる資質能力等を考慮に入れ、これから数年間の教育課程を創造していきたいと思っています。そこでは、横並びや前例踏襲といった内向きな思考ではなく、三学期制への移行や小中一貫教育などの練馬区の施策も踏まえながら、建設的に取り組んでいきたいと思っています。

この一年も教育目標の「共に生きる」という精神を大切にしながら、本校に通うすべての子どもたちにとって、よりよい教育実践を積み重ね、魅力・信頼・活力にあふれた関町北小学校にしていきたいと思いますので、皆様の変わりぬご理解、ご支援、ご協力のほどをお願い申し上げます。